

適用機種：

カラー機（CL）	C14010シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド

- No. 11 (WY3) -

# TU-510

Ver. 01.00

## 目次

**1** はじめに

**2** 四方断裁

**3** 二枚分断

**4** カード断裁（名刺）

**5** 1×1～3×3断裁

**6** トリマーユニット調整

**7** 補足



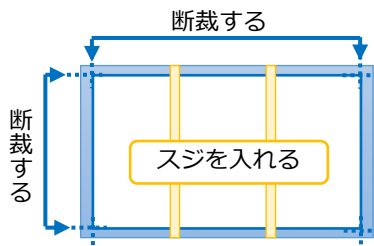
# 1 はじめに

## 1-1. トリマーユニット TU-510とは

### ① 断裁と折りスジ

用紙の天地と先端/後端を断裁して、縦方向に折りスジを表面と裏面に入れます。

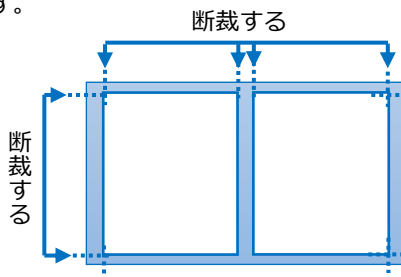
**作成例：パンフレット、カタログ**



### ② 二分割

用紙を二分割して、フルブリードで印刷します。

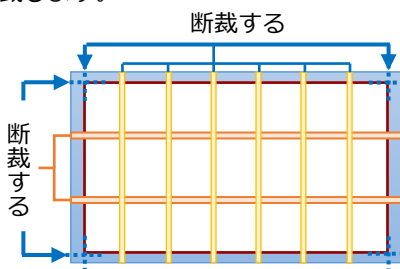
**作成例：チラシ**



### ③ 名刺サイズ加工

用紙を多面付けして、自動的に名刺サイズに断裁します。

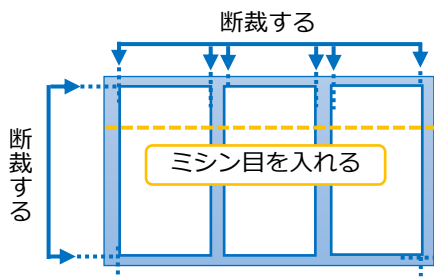
**作成例：名刺**



### ④ ミシン目加工

横方向にミシン目を入れます。

**作成例：チケット、クーポン券**



# 1 はじめに

## 1-2. TU-510のワークフロー

TU-510の操作の流れです。動画をご参照ください。

[11-010 ワークフロー](#)



START

### ① トリマープロファイルの作成

- ・断裁方法を指定した設定情報を作成します。
- ・設定は仕様を確認しながら入力します。



### ② DTPファイル（原稿）の作成

※本書では説明しません。

- ・① で選んだ用紙サイズで作成します。
- ・① と同じ断裁位置、断裁幅でDTPファイルを作成します。

### ③ オプションユニットの交換

- ・① で指定した断裁方法に応じて、断裁加工オプションユニットを交換します。

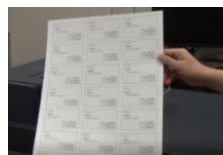


### ④ 用紙のセットと用紙設定

- ・用紙をセットして、用紙情報を設定します。
- ・断裁機能によって、用紙坪量は異なります。

### ⑤ DTPファイルのテスト印刷

- ・準備したDTPファイルをテスト印刷します。
- ・断裁せずに印刷して、画像や表裏位置を確認します。



### ⑥ 断裁設定の確認印刷

### ⑦ 断裁位置／精度の調整

#### ■調整用チャート

断裁せずに、トリマープロファイルで設定した断裁位置全体を把握できます。

- ・断裁なしの調整用チャートと断裁後の用紙を比較して、断裁位置のズレを確認します。
- ・必要に応じて断裁位置の微調整を行います。
- ・調整後、テスト印刷します。



### ⑧ 本番印刷

- ・必要部数を設定して本番印刷を行います。

END

## 2 四方断裁

### 2-1. 印刷用紙の準備

四方断裁は、以下の用紙を使用できます。

■ 用紙サイズ（幅×長さ）

140mm × 153mm ～ 330.2mm × 1300mm

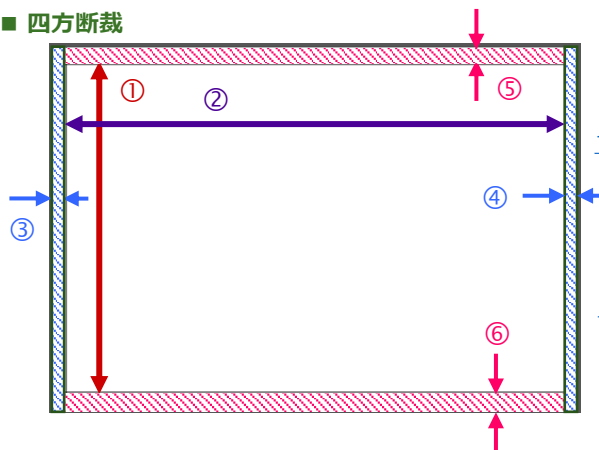
（長さ487.8mm以上は、長尺ユニットが必要）

■ 坪量

50gsm ～ 400gsm（長さ487.8mm以上は、128～300gsm）

### 2-2. トリマープロフィールの作成

■ 四方断裁



トリマープロフィール作成と印刷  
手順は下記リンクまたはQRコード  
からご参照ください。

[11-021\\_トリマープロフィールの作成](#)

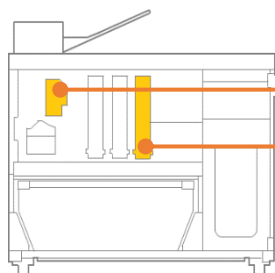


[11-030\\_断裁結果：四方断裁](#)



	名称	説明	入力値の制限
①	仕上がりサイズ縦幅	断裁後の用紙1枚の縦幅	120.0 mm ～ 用紙サイズ縦
②	仕上がりサイズ横幅	断裁後の用紙1枚の横幅	133.0 mm ～ 用紙サイズ横
③	先端位置	用紙先端からカットする位置	0 mm or 8.0 mm ～ 100.0mm
④	後端位置	用紙後端からカットする位置	自動値
⑤	奥側位置	用紙上端からカットする位置	0 mm or 8.0 mm ～ 30.0 mm
⑥	手前側位置	用紙下端からカットする位置	自動値

### 必要なオプションユニット



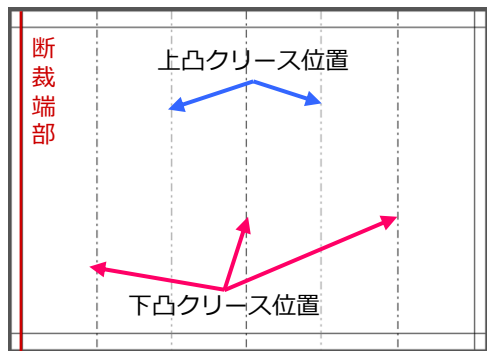
CD断裁ユニット（標準）

スリッターユニット（標準）

※TU-510 標準ユニットなので、交換作業はありません。

## 2 四方断裁

### ■ 四方断裁 + クリース (上凸と下凸)



#### ■ クリース位置 (下凸／上凸) 条件

- ・ 断裁端部から10mm以上
- ・ クリース間隔は1mm以上
- ・ クリース位置はそれぞれ最大5箇所

※ クリースは有効/無効を切り替えることが出来ます。

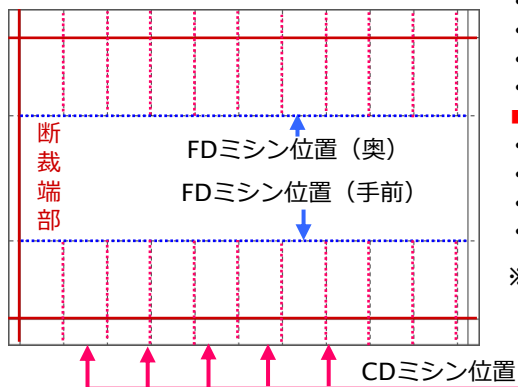
[11-041\\_ トリマープロファイルの作成](#)



[11-050\\_ 断裁結果：四方断裁+クリース](#)



### ■ 四方断裁 + ミシン目 (FD方向とCD方向)



#### ■ FDミシンの条件 (奥／手前)

- ・ ミシン位置は断裁端部から10mm以上
- ・ ミシン位置間は100mm以上
- ・ ミシンの長さは5mm以上
- ・ FDミシン(奥/手前はそれぞれ1箇所のみ)

#### ■ CDミシンの条件 (奥／手前)

- ・ ミシン位置は断裁端部から5mm以上
- ・ ミシン位置間は9mm以上
- ・ ミシンの長さは0mm or 10mm以上
- ・ CDミシン(奥/手前)はそれぞれ最大10箇所

※ ミシン目は有効/無効を切り替えることが出来ます。

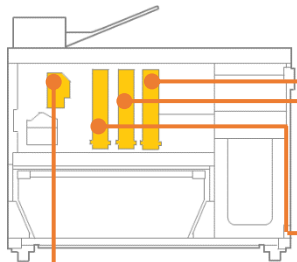
[11-061\\_ トリマープロファイルの作成](#)



[11-070\\_ 断裁結果：四方断裁+ミシン目](#)

### 必要なオプションユニット

オプションユニットの交換手順は動画をご参照ください。



#### スリッターユニット (標準)

- ・ クリーサーユニット (下凸)
- ・ パーフォレーションユニット (CD) \*1

- ・ クリーサーユニット (上凸)
- ・ パーフォレーションユニット (FD) \*1

#### CD断裁ユニット (標準)



[11-080\\_ オプションユニット交換](#)

(\*1) WY3から機能拡張されました。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせ下さい。

## 3 二枚分断

### 3-1. 印刷用紙の準備

二枚分断は、以下の用紙を使用できます。

■ 用紙サイズ（幅×長さ）

140mm × 266mm ～ 330.2mm × 487.7mm

■ 坪量

• 64gsm ～ 400gsm

### 3-2. トリマープロファイルの作成

トリマープロファイル作成と印刷手順はリンクまたはQRコードからご参照ください。

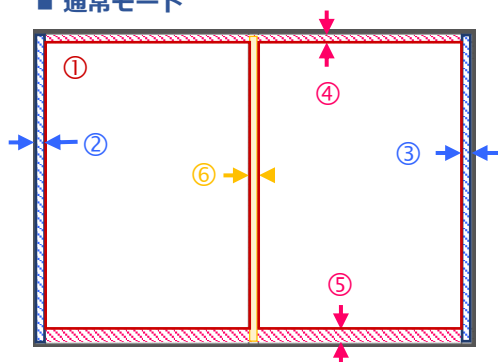
[11\\_091\\_トリマープロファイルの作成](#)



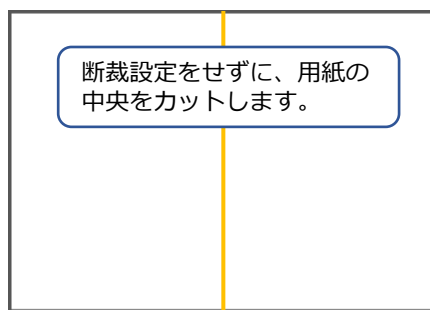
[11-100\\_断裁結果：二枚分断](#)



■ 通常モード



■ 半裁モード

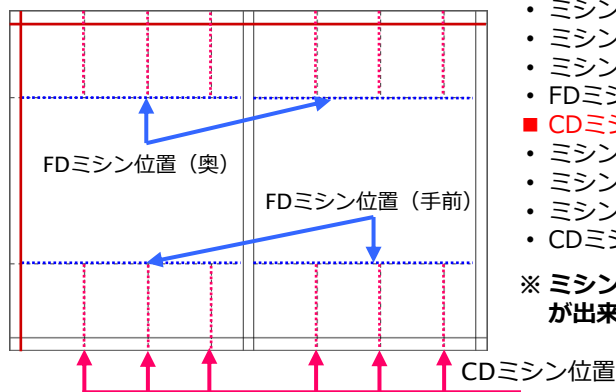


	名称	説明	入力値の制限
	半裁	用紙1枚を半分に断裁したサイズ	入力無し
①	仕上がりサイズ	断裁後の用紙1枚のサイズ	A4 LEF/LTR LEF/SRA4 LEF/B5 LEF/A5 SEF/A5 LEF/B6 SEF/9×11 LEF/8×13 LEF/16K LEF/5.5×8.5 SEF/5.5×8.5 LEF/不定形
	縦幅 *1	断裁後の用紙1枚の縦幅	120.0 mm ～ 330.2 mm
	横幅 *1	断裁後の用紙1枚の横幅	133.0 mm ～ 243.8 mm
	② 先端位置	用紙先端からカットする位置	0.0 mm or 8.0 mm ～ 100.0 mm
	③ 後端位置	用紙後端からカットする位置	自動値
	④ 奥側位置	用紙上端からカットする位置	0.0 mm or 8.0 mm ～ 30.0 mm
	⑤ 手前側位置	用紙下端からカットする位置	自動値
	⑥ ドブ断ち幅	断裁位置から断裁ズレが発生した場合の予備領域	0 mm or 5.0 mm ～ 16.0mm

\*1 不定形を選択時、入力項目が表示されます。

### 3 二枚分断

#### ■ 二枚分断 + ミシン目 (FD方向とCD方向)



#### ■ FDミシンの条件 (奥/手前)

- ミシン位置は断裁端部から10mm以上
- ミシン位置間は100mm以上
- ミシンの長さは5mm以上
- FDミシン位置はそれぞれ1箇所のみ

#### ■ CDミシンの条件 (奥/手前)

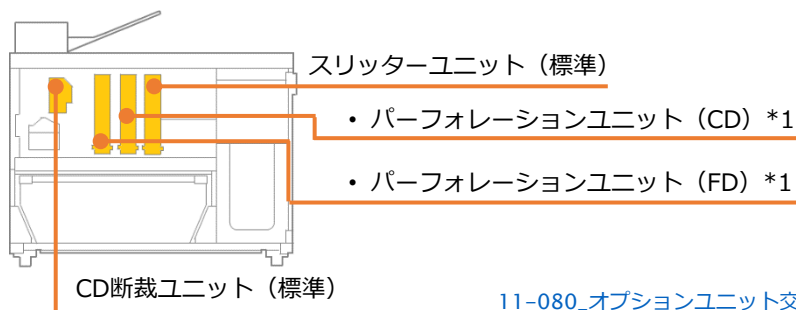
- ミシン位置は断裁端部から5mm以上
- ミシン位置間は9mm以上
- ミシンの長さは10mm以上
- CDミシン位置はそれぞれ最大5箇所

※ ミシン目は有効/無効を切り替えることが出来ます。

[11-110\\_](#)  
[トリマープロファイルの作成](#)



#### 必要なオプションユニット



[11-080\\_オプションユニット交換](#)



(\*1) WY3から機能拡張されました。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせ下さい。

## 4 カード断裁（名刺）

### 4-1. 印刷用紙の準備

カード断裁は、以下の用紙を使用できます。

■ 用紙サイズ（幅×長さ）

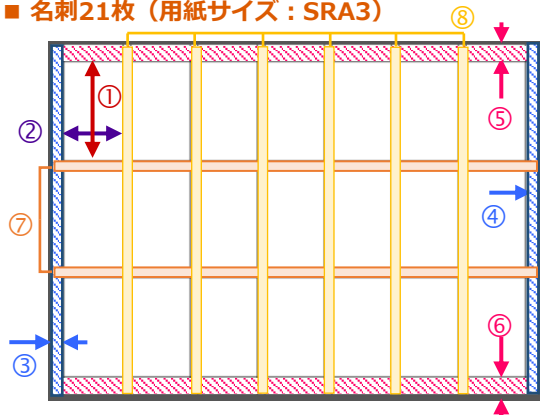
210mm × 279.4mm ～ 330.2mm × 457.2mm

■ 坪量

157gsm ～ 400gsm（A3以上の用紙を使用する場合は、157 ～ 300gsmまで）

### 4-2. トリマープロフィールの作成

■ 名刺21枚（用紙サイズ：SRA3）



トリマープロフィール作成と印刷  
手順は下記リンクまたはQRコード  
からご参照ください。

[11-121\\_トリマープロフィールの作成  
（3列）](#)



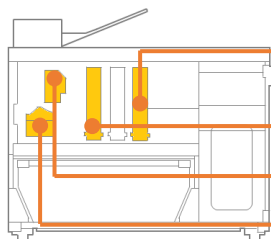
[11-130\\_断裁結果：カード断裁](#)



	名称	説明	入力値の制限
①	仕上がりサイズ縦幅	断裁後の用紙1枚の縦幅	85.0 mm ～ 92.0 mm
②	仕上がりサイズ横幅	断裁後の用紙1枚の横幅	50.0 mm ～ 56.0 mm
③	先端位置	用紙先端からカットする位置	8.0 mm ～ 20.0 mm
④	後端位置	用紙後端からカットする位置	自動値
⑤	奥側位置	用紙上端からカットする位置	8.0 mm ～ 30.0 mm
⑥	手前側位置	用紙下端からカットする位置	自動値
⑦	ドブ断ち幅 *1	断裁位置から断裁ズレが発生した場合の予備領域	0 mm または 6.0 mm ～ 15.0 mm
⑧	ドブ断ち幅		0 mm または 5.0 mm ～ 16.0 mm

### 必要なオプションユニット

オプションユニットの交換手順は動画をご参照ください。



スリッターユニット（標準）

[11-140\\_](#)  
[オプションユニット交換](#)

トリマーユニット（ドブ断ちスリット）\*1

CD断裁ユニット（標準）

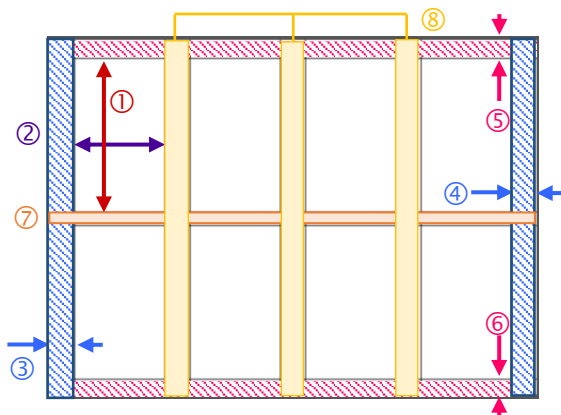
セパレーターユニット

（\*1）WY3から機能拡張されました。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせ下さい。



## 4 カード断裁（名刺）

### ■ 名刺8枚（用紙サイズ：A4）



トリマープロフィール作成の手順  
は下記リンクまたはQRコードから  
ご参照ください。

[11-151\\_トリマープロフィールの作成  
\(2列\)](#)



### ■ 注意事項

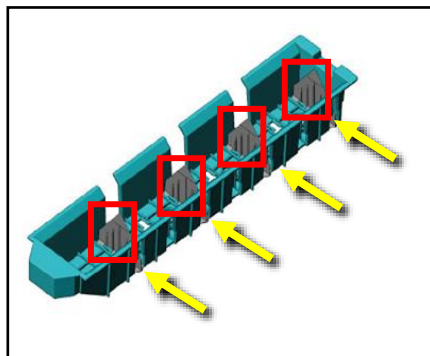
用紙サイズ：A4でカード断裁する場合、下記の変更が必要です。

#### 1. 2列用カードトレイの購入

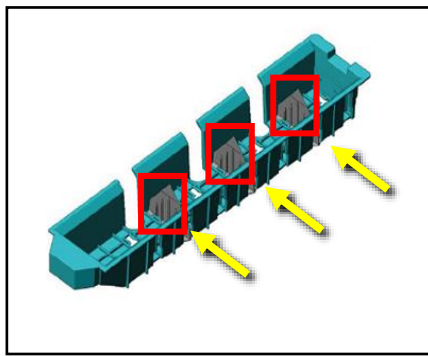
通常のカードトレイは仕切り板4枚により、3列に分けられたカードサイズの用紙をスタックします。

A4サイズの用紙をカード断裁する場合は2列に分けられるため、仕切り板3枚の2列用カードトレイが必須となります。

**必要な場合、購入することをお勧めします。**



3列用カードトレイ：仕切り板(4枚)

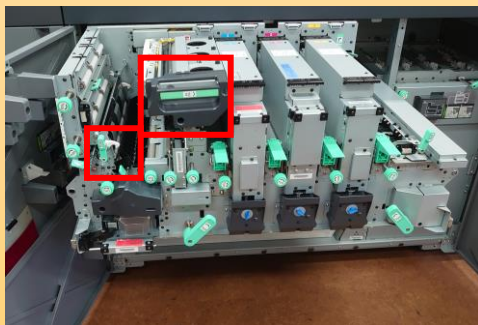
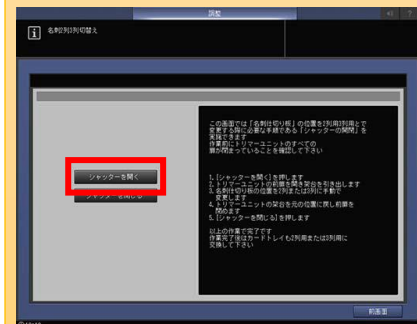


2列用カードトレイ:仕切り板(3枚)

## 4 カード断裁（名刺）

### 2. 名刺2 列3 列切替え手順

通常の「セパレーターユニット JS-507」はカードサイズ用の紙を3列に分けます。しかし、A4サイズの用紙をカード断裁する場合は2列に分けます。そのため、セパレーターユニットの構成変更が必要です。手順は以下の通りです。



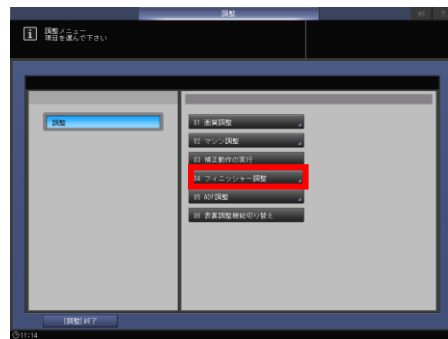
① [名刺2 列3 列切替え] を開き、「シャッターを開く」をタップします。\*1

② 搬送架台を引き出します。

### \*1 [名刺2 列3 列切替え] のアクセス手順



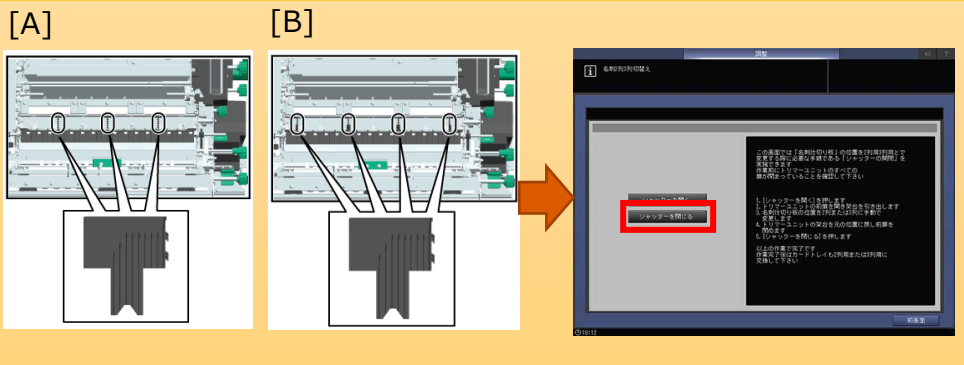
「調整」をタップします。



「フィニッシャー調整」をタップします。

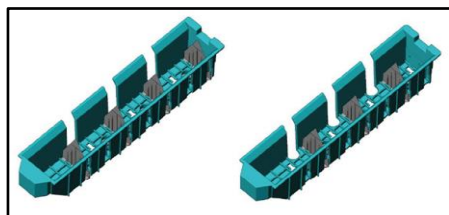
## 4 カード断裁（名刺）

尚、この作業は慣れが必要なため、部品を破損する可能性があります。  
仕切り板の変更作業が難しい場合は、サービス実施店にお問い合わせ  
ください。



③仕切り板を一度全て取り外し、[A]または[B]のように2列、3列の位置に取り付けます。取り付け後、搬送架台を元の位置に戻します。

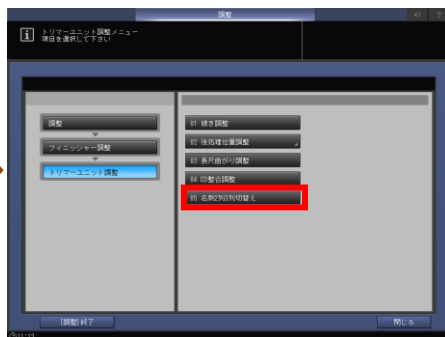
④「名刺2列3列切替え」をもう一度開き、「シャッターを閉じる」をタップします。



3列用カードトレイ

2列用カードトレイ

⑤作業完了後、カードトレイも2列用または3列用に交換します。



「トリマーユニット調整」をタップします。

「名刺2列3列切替え」をタップします。

## 4 カード断裁（名刺）

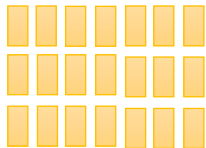
### 4-3a. 定型用紙サイズ (mm) に対するカード断裁の可否リスト

定型用紙サイズ	断裁カードサイズと断裁可能枚数			
	国内 91×55mm	北米 89×51mm	欧州 85×55mm	クレジットカード (WW共通) 86×54mm
菊判4切 (316×468)	3×7 3×8 (*1)	3×7	3×7 3×8 (*1)	3×7
四六判8切 (272×394)	設定値が仕様外のため、断裁出来ない。			
SRA3 (320×450)	3×7	3×7	3×7	3×7 3×8 (*1)
A3 (297×420)	設定値が仕様外のため、断裁出来ない。		3×6	3×6
B4 (257×364)	設定値が仕様外のため、断裁出来ない。			
SRA4 SEF (225×320)	2×5	2×5	2×5	2×5
A4 SEF (210×297)	2×4 2×5 (*1)	2×5	2×4 2×5 (*1)	2×5 (*1)

(\*1) ドブ断ち幅(縦)の設定を無効

下記図は、断裁可能枚数のレイアウトです。

A3以上の用紙サイズ：3列レイアウト  
(3 × 7の例)



※「157gsm ～ 300gsm」の坪量の用紙を使用できます。

A4用紙サイズ：2列レイアウト  
(2 × 4の例)



※「157gsm ～ 400gsm」の坪量の用紙を使用できます。

以下の用紙サイズは許容範囲外のため、断裁出来ません。

SRA4 LEF(320×225)	A5 SEF(148×210)
A4 LEF(297×210)	B5 SEF(182×257)

次ページへ続く

## 4 カード断裁（名刺）

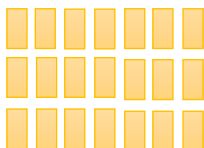
### 4-3b. 定型用紙サイズ (inch) に対するカード断裁の可否リスト

定型用紙サイズ	断裁カードサイズと断裁可能枚数			
	国内 91×55mm	北米 89×51mm	欧州 85×55mm	クレジットカード (WW共通) 86×54mm
12"×18" (304.8×457.2)	設定値が仕様 外のため、断 裁出来ない。	3×7	3×7 3×8 (*1)	3×7 3×8 (*1)
11"×17" (279.4×431.8)	設定値が仕様外のため、断裁出来ない。			
9"×11" SEF (228.6×279.4)	2×4	2×4 2×5 (*1)	2×4	2×4
8.5"×14" (215.9×355.6)	2×5 2×6 (*1)	2×6	2×5 2×6 (*1)	2×5 2×6 (*1)
8.5"×11" SEF (215.9×279.4)	2×4	2×4 2×5 (*1)	2×4	2×4
8 K (270×390)	設定値が仕様外のため、断裁出来ない。			

(\*1) ドブ断ち幅(縦)の設定を無効

下記図は、断裁可能枚数のレイアウトです。

A3以上の用紙サイズ：3列レイアウト  
(3 × 7の例)



※「157gsm ~ 300gsm」の坪量の用紙を使用できます。

A4用紙サイズ：2列レイアウト  
(2 × 4の例)



※「157gsm ~ 400gsm」の坪量の用紙を使用できます。

以下の用紙サイズは許容範囲外のため、断裁出来ません。

13"×19"(330.2×482.6)	9"×11" LEF(279.4×228.6)
8.5"×11" LEF(279.4×215.9)	8"×13"(203.2×330.2)
16K SEF(195×270)	16K LEF(270×195)

## 5 1×1～3×3断裁

### 5-1. 印刷用紙の準備

1×1～3×3断裁は、以下の用紙を使用できます。

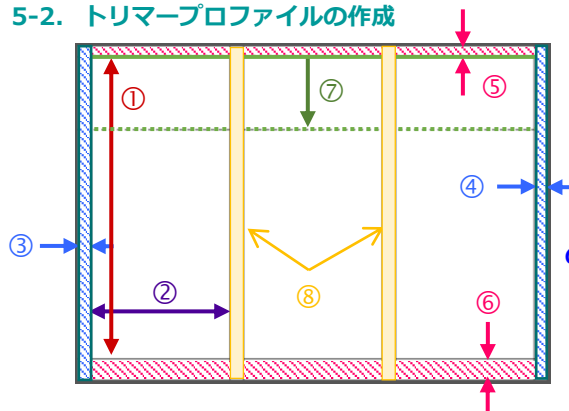
■ 用紙サイズ（幅×長さ）

210mm × 153mm ～ 330.2mm × 487.7mm

■ 坪量

128gsm ～ 400gsm

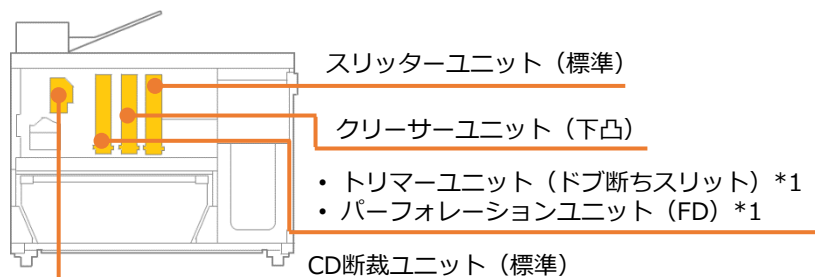
### 5-2. トリマープロフィールの作成



トリマープロフィール作成は2章～4章の動画をご参照ください。

	名称	説明	入力値の制限
①	仕上がりサイズ縦幅	断裁後の用紙1枚の縦幅	85.0 mm ～ 用紙サイズ縦
②	仕上がりサイズ横幅	断裁後の用紙1枚の横幅	133.0 mm ～ 用紙サイズ横
③	先端位置	用紙先端からカットする位置	0 mm / 8.0 mm ～ 100.0mm
④	後端位置	用紙後端からカットする位置	自動値
⑤	奥側位置	用紙上端からカットする位置	0 mm / 8.0 mm ～ 30.0 mm
⑥	手前側位置	用紙下端からカットする位置	自動値
⑦	FDミシン位置（奥）	断裁端部（奥）からの位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>断裁端部から10mm以上</li> <li>ミシン位置間には100mm以上</li> </ul>
⑧	ドブ断ち幅	断裁位置から断裁ズレが発生した場合の予備領域	0 mm / 5.0 mm ～ 100.0mm

### 必要なオプションユニット



（\*1） WY3から機能拡張されました。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせ下さい。

## 6 トリマーユニット調整

### 6-1. 傾き調整

#### 事前準備

傾き調整を実施する前の準備です。

- SRA3用紙 または 12"x18"用紙をセットします。（180gsmの用紙を推奨）
- 用紙設定を設定します。（サイズ、用紙種類、坪量 等）
- **画像位置調整**を実施します。
- 調整に使用するトリマープロファイルを作成します。下記の動画をご確認ください。

#### 調整

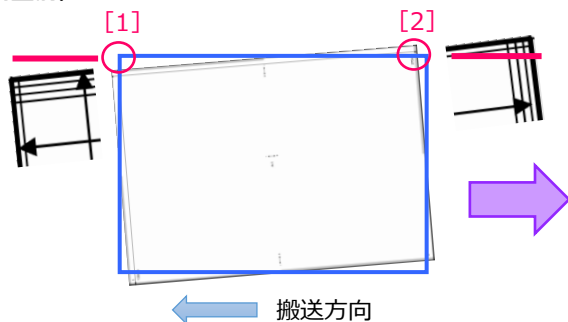
**調整手順は動画をご参照ください。**

1. 四方断裁を実行し、出力された先端側のプリント画像と断裁位置 [1] の差と後端側のプリント画像と断裁位置 [2] の差を確認します。

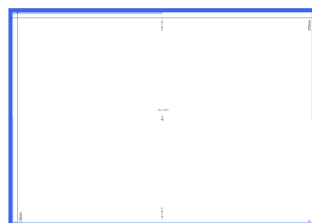
[11-190 傾き調整](#)



（調整前）



（調整後）



断裁位置 [1] と断裁位置 [2] の差「**断裁の傾き量**」を算出します。

$[1] - [2] = \text{「断裁の傾き量」}$

2. [調整] - [フィニッシャー調整] - [トリマーユニット調整] - [傾き調整] に移動します。



[1] < [2] の場合：**マイナス**の調整値

[1] > [2] の場合：**プラス**の調整値

調整値は、**全体オフセット** 欄に入力します。  
[セット] を押すことで、調整値が反映されます。

**断裁の傾き量が±1.0mm以下になるまで、手順を繰り返します。**

## 6 トリマーユニット調整

### 6-2. 後処理位置調整

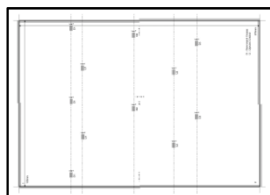
#### 事前準備

後処理位置調整を実施する前に調整用チャートを印刷します。

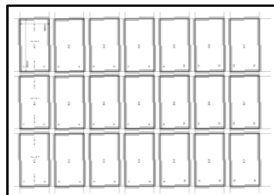
#### 調整用チャートとは

1. 仕上がりサイズ、断裁位置や用紙サイズが異なっても、作成したトリマープロファイルに沿って各チャートを作成することが出来ます。
2. 断裁せずに、トリマープロファイルで設定した断裁位置全体を把握できます。

例：四方断裁（クリース）



例：カード断裁



#### 後処理位置調整

[調整] - [フィニッシャー調整] - [トリマーユニット調整] - [後処理位置調整] に移動します。

使いたい断裁モードを選び、必要な調整を実施します。

**A** 四方断裁モード

**B** 二枚分断モード

**C** カード断裁モード

**D** 1×1～3×3断裁モード

#### ■ 注意

- オプションユニットを設置すると、調整項目がアクティブになります。アクティブとなった項目を調整して下さい。
- 調整項目の調整値は断裁モードごとに独立で保存されています。

例：四方断裁の両端スリット位置補正：+1  
二枚分断の両端スリット位置補正：-2



調整値は、他の断裁モードに影響しません。

印刷前に、調整値と断裁位置の確認印刷を推奨します。  
断裁位置がずれていた場合は、調整を実施して下さい。

調整項目			
①	両端スリット位置補正	⑤	クリース（上凸）位置補正
②	ドブ断ちスリット位置補正	⑥	CDミシン目位置補正
③	CD断裁位置補正	⑦	FDミシン目位置補正
④	クリース（下凸）位置補正		

調整手順は下記リンク  
またはQRコードから  
動画をご参照ください。

[後処理位置調整の  
動画リスト](#)

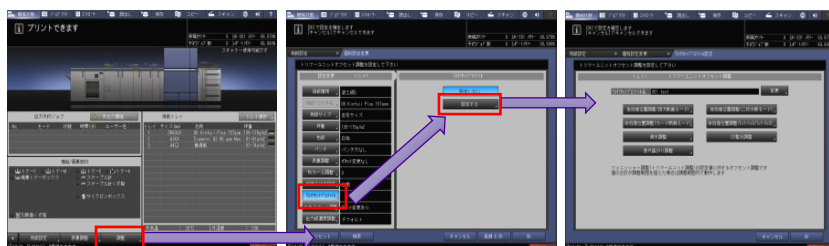




## 6 トリマーユニット調整

### 6-3. TUオフセットプロフィール

各断裁モードの調整値を用紙プロフィールを設定する時に登録して用紙ごとに保存します



### 6-4. 【TUオフセットプロフィール】の使い方

#### ■ 使用例

【トリマーユニット調整】 - 【両端スリット位置補正】に調整値(+2)がセットされています。

この調整値はどの用紙にも適用される共通の調整値です。

共通の調整値はカスタマーエンジニアが初期設定します。  
一番多く使う用紙を基準紙として、設定します。

CE



初期設定に調整値が  
セットされています。

共通



用紙ごと（用紙プロフィール）に調整値を  
保存します。

用紙プロフィールA

最終的な調整値



TUオフセット  
プロフィール  
なし

= +2

用紙プロフィールB



TUオフセット  
プロフィール  
あり

= +4

#### 注記

- 初期値を調整する場合は、基準紙を決めて調整して下さい。
- 一番多く使う紙を基準紙にすることをお勧めします。

用紙プロフィールC



TUオフセット  
プロフィール  
あり

= -3

TUオフセットプロフィールは用紙種類ごとに調整値を保存できます。適用することで用紙ごとに毎回、トリマーユニット調整をする必要もなく、断裁の挙動を無くします。

使用手順は動画をご参照ください。

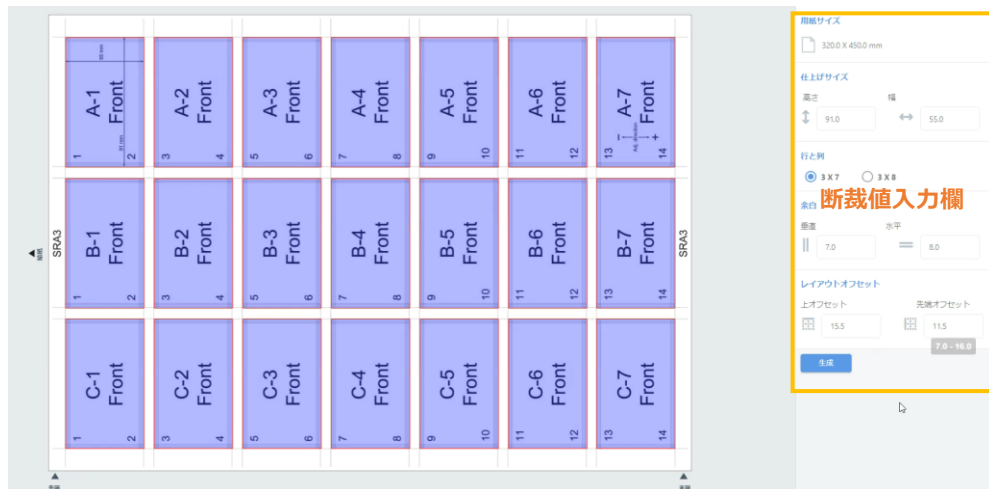


11-350\_TUオフセットプロフィール

## 7-1. Fieryによるトリマープロファイル作成

Fieryでもトリマープロファイルを作成することができます。TU-510のワークフローとは違い、DTPファイル（原稿）を基に断裁位置や断裁幅を設定することができます。

詳細な手順は[下記リンク](#)またはQRコードからご参照ください。



Fieryコントローラーによるトリマープロファイル作成例（カード断裁）

## 7-2. トリマープロファイルのインポート／エクスポート

過去に作成したプロファイルを一括でCSVファイルとしてエクスポートして、別のマシンにインポートすることができます。手順は[下記リンク](#)またはQRコードからご参照ください。

## 7-3. トラブルシューティング

トリマープロファイル作成に失敗すると、以下のメッセージが表示されます。エラーとなった場合は数値が赤字になります。

- ・表示例1：両端スリット量が許容範囲外です。
- ・表示例2：後端カット量が許容範囲外です。

対応方法は、[下記リンク](#) または [動画](#)またはQRコードで表示される動画を参照して下さい。

[7章の動画リスト](#)



MEMO

---

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dotted lines.

## This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no text or other markings on the paper.